

トリせつ



トリせつとは…?

— 鳥大説明書 —

鳥取大学に関する様々な情報を取り扱い、解説していく情報紙です。学生スタッフが企画・取材をすることで、学生目線から見た鳥大の姿をお届けしたいと思います。

鳥大の学生や先生方、研究室の取り組みを紹介していくコーナーです。今回は、知能情報工学科の榎田先生のアプリ開発の取り組みについて紹介します。



知能情報工学科では、「スマートフォン」のアプリを作ろうの会」という会があり、毎年公開講座を一般に向けて公開しています。その取り組みは、二〇一四年で五年目を迎えました。今回はそんなアプリ開発の取り組みについて、榎田先生と榎田先生の研究室の学生の方にインタビューをさせていただきました。

Q1. 主に何を研究されていますか？
A1. 人間が物事を判断するとき、何故そのような判断をするのかということとを式に起こす研究
 ・筋活動電位（筋肉を動かすとき出る電気信号）を測定し、今どのくらい疲れているかを判断し、筋肉の状態を客観的に知る研究
 ・入院患者さん等によるベッドの転倒事故防止のため、危ない姿勢ではないか、感知し判断する研究
 その他にもニーズを大切に、幅広く研究しています。

Q2. なぜアプリ開発を？

A2. アプリ開発の公開講座を今回担当することになったからです。二〇一三年に初めて参加し、二〇一四年にテキストを作り直して実施しました。実際にやってみると面白く、普段使っているアプリを自分で作れて持ち運

わたしの
トリくみ
 ~アプリ開発編~



ちなみに榎田先生の趣味は写真、珈琲、井戸端会議

アプリ、文字を入力するとそれを話してくれるアプリなど、様々なアプリを作れるように準備しました。アプリは、プログラムをキーボードで打つていくのではなく、マウスだけで出来ます。アプリは、身近な困ったことを自分で解決することができ、ちょっとした困

Q3. 二〇一四年の公開講座はどうでしたか？
A3. 中学生以上が対象だったので、小学生から六〇代の方まで来られていました。どうやって年代の違う人に教えるかということが大変でした。面白いアプリを作ってもらおうと教材作りにも苦労しました。まずは、ボタンを作るアプリから始め、猫の写真のボタンをクリックすると、ニャーと鳴くアプリを作りました。また、そのボタンを押した数を数え、おみくじを作りました。他にも、ラーメンタイマーのアプリやお絵かき



'14公開講座のチラシ

りごとは自分で解決できることが出来るということに参加者の方に伝えていきます。

Q4. アプリ開発に関してこれからの展望は？

A4. 一つは、アプリを通して、多くの人にプログラムの面白さを伝えるということです。小学生、中学生でもできるため、教育として活用できます。もう一つは、研究にアプリを活用ということです。アプリは、プログラムなど中身が分からなくとも、使うことはできます。我々の研究は、学部が違う方や一般の方には分かりにくいいため、研究を身近に感じてもらうために有効だと考えています。アプリが、地域の人々と大学の研究をつなぐ懸け橋のようなツールになればと思います。地域の方々に使っていた技術であれば、我々もより自信を持って研究できます。

榎田先生作成のアプリの紹介

「おやつかるく」



このアプリは、榎田先生の娘さん2人のおやつ金額を別々に計算するものです。おやつを買いに行くとき「これにする」「やっぱりやめる」などの出し入れにより計算が分からなくなることがあったため、その行動をそのままアプリにし、簡単にそれぞれのおやつ金額を計算できるようにしています。

「移動するたび緯度経度Dual 具の2」



このアプリは、GPSのデータを取って、10秒に1回GPSに変更があれば値を表示するアプリです。自分の移動ログを調べたいと思い榎田先生が作られました。これを腕時計型の端末などに載せると、徘徊高齢者の見守りや飼猫を探すのに役立つのではないかと考えておられます。



榎田研究室 修士1年
あきつく
上田 晃嗣さん

A2. 筋電位を解析して、今のくらい疲労しているのかを知る研究です。リハビリを始める前後で、筋の状態がどのくらい違うかを

Q2. 研究内容は？
A2. 筋電位を解析して、今のくらい疲労しているのかを知る研究です。リハビリを始める前後で、筋の状態がどのくらい違うかを

Q1. なぜ榎田先生の研究室を選ばれましたか？
A1. 大学入学前から、進路として人体に関わるスポーツ医学、理学療法士、スポーツトレーナーが、電子情報系に進みたいと思い、考えた結果、知能情報工学科に入学しました。入学後、榎田先生の研究室紹介や卒業発表を見て、色々な生体信号を制御に活かしたり、人間との関係性を見たりと、自分のやりたかったことが両方できると思ったため、榎田先生の研究室を選びました。

学生の方へのインタビュー



アプリ作成風景



猫のボタン作成風景

見て、最適な負荷やりリハビリシステムを提案しようという研究をしています。

Q3. アプリの開発にどのくらい関わってききましたか？

A3. アプリの公開講座のTA^(※)として関わってきました。アプリ開発について自分自身勉強し、アプリを実際に作り、知識を身に付けました。先生が教えても分からない人に、更に噛み砕いてどう説明するかということに苦労しました。受講している方の知識の量も様々で、すべてにできる人と詳しく教えなければいけない人がいて、人に合わせて教えることにも苦労しました。また、事前準備として、データを二つのUSBやパソコンに入れていくのは大変でした。

※TA: ティーチングアシスタントの略。先生の指示のもと、授業の補助や支援を行う学生のことで

Q4. 最後に一言お願いします。

A4. 公開講座では、これから自分で学ぶのはしんどい、パソコンもあまり使えない、必要な環境を構築できない、でも、アプリを作りたい、論理的な思考を学びたいという方も、必要なことは全てスタッフが行っていきます。やり方が分からなくても、スタッフが丁寧に説明します。あとはアプリを作るだけです。ぜひ、公開講座へお越しください。

今回取材をさせていただき、私もアプリを作ってみました。ほとんどクリックだけで簡単にできました。普段アプリはインストールしたもののしか使っていませんが、作ってみるのも楽しかったです。公開講座は毎年実施されているので、アプリを使っただけでなく作ってみてはいかがでしょうか？

(担当:小念)



このコーナーは学生の親御さんから多く寄せられる「子どもたちの生活の様子が知りたい」という声をもとに誕生しました。鳥大のあらゆる物事をランキング形式にして紹介することで、学生生活の様子をお伝えします！第2回目となる今回は、前回よりさらに学生に近づいた内容です。

学生の出身都道府県ランキング (院生は除く全学部生 5252人中)

よくいるランキング

1位	兵庫県 ... 1011人	
2位	鳥取県 ... 975人	
3位	岡山県 ... 408人	
4位	大阪府 ... 340人	
5位	広島県 ... 266人	

出会えたら奇跡!?ランキング

1位	秋田県 ... 1人	
2位	岩手県 ... 3人	
2位	福島県 ... 3人	
3位	青森県 ... 4人	
4位	山形県 ... 5人	
4位	宮城県 ... 5人	

出身学生が多いのは鳥取近隣の府県、少ないのは東北地方という結果になりました。ちなみに、北海道は34位で18人、沖縄県は35位で19人と、最北端・最南端でありながら東北より出身学生が多いんですね～！

今回、私たちはなんと…出会えたら奇跡!?!の2位福島県、3位青森県出身の学生へのインタビューに成功しました。また、番外編としてさらに珍しい!?!離島出身の学生へのインタビューともにお届けします。

インタビュー内容 ①出身地の紹介 ②出身地と鳥取とのちがい ③将来は地元に戻るのか

2位

福島県出身

- ① 双葉郡葛尾村という阿武隈高地の山の中で、DASH 村が隣町にあります。地元には「凍み餅（寒冷地の保存食）」という食べ物がありますが、鳥取へ来て「凍み餅食べたいな〜」という、みんなから「何それ!?!」と言われました(笑) 福島弁は語尾に「〜だべ」がよく付きます。「どこに?」「どこさ?」になったりもしますね。例えば「携帯どこ置いた?」「携帯どこ置いたべ?」になりますね。あとは〜…
- スタッフ：今(「あとは」が) すごい訛ってましたよ(笑)
- え!?!イントネーションに自覚はないんですよ。地元にいる家族と電話すると、相手のイントネーションが違うなとは思いますが。鳥取にいますと、福島弁、関西弁、鳥取弁が混ざったような話し方になってしまうんです。福島出身でよかったことは、みんなが寒いと言っている中でも平気なところ。



白岩 あゆみさん (農・3年)

- ② 鳥取の霽囲気は地元と似ているな〜と。地元でも汽車のドアは手動だったし、降雪量も変わらないですね。ただ、鳥取の夏の湿気はすごいと思います。
- ③ (即答で) 戻ります! 地元愛に溢れているね、と言われたくらい福島が好きですから。
- スタッフ：その地元愛をぜひ語ってください!
- (しばらく、洗われるも、なんとかお願いしたところ…) そもそも、鳥大へ来たのは震災(11東日本大震災)後、地元へ貢献したいという気持ちが強くなったからなんです。鳥大で農地や土壌のことを学び、福島に持って帰って、農業ができなくなった人たちに広めたいなど。農地をほったらかしで避難しているの、じいちゃんばあちゃんたちが無職の状態なので、農業できるようにしたいなと思って、今農学を学んでいます。被災した他県と違い、福島は原発の問題があるので、家を片付けようにも入れない地域が多く、まだまだ復興途上という感じですかね。ちなみに、福島では毎日ニュースで今日の放射能数値が出ます。まだまだ先だと思いますが、福島の農産物が安全だけでなく安心できるようになればいいなと思います。その手助けができるように頑張りたいと思います。

Fukushima



白岩さん自身は鳥取へ来てからいろんな方言が混ざってしまったと言っていました。終始福島弁訛りででしたよ^^ インタビュー終盤では、白岩さんの福島への熱い思いにスタッフが涙がこぼれそうだったとか…。

田中 広大さん (地域・4年)

3位

青森県出身



Aomori



- ① 地元は青森県南部町(八戸市の隣町)で、りんごやさくらんぼなどのフルーツが特産です。昔は夜行バスを乗り継いで2泊3日かけて地元へ帰っていました。2年前の夏頃から帰省はしていませんね。出身地を言うと、二言目には「りんごでしょ?」と言われる(笑) 屋台部(地域政策学科を中心とする活動)で地元の名物「南部せんべい汁」をすることにになり、親にレシピを聞いて作りました。珍しがる買ってくださる人が多かったですね。
- ② 南部町は太平洋側なので、県内でも降雪量は鳥取とあまり変わりません。ただ、冬季の気温は日中でも氷点下ですけどね。鳥取の夏はとても暑いんですね。
- スタッフ：青森へ帰りたくないので? 帰る気もなくなるくらい暑かったです。南部町民はひかえめな性格で、そこは鳥取と似ているかなと。地元の方言では、わたし=「わ」、あなた=「な」が使われたりしますかね。鳥取は中高生ぐらいの若い子も方言を使っているのが驚きました。
- ③ ゆくゆくは青森へ戻りますが、就職は鳥取でします。はじめ、鳥取は何もないと思っていましたが、県内で様々な取り組みをしている人々と出会い、おもしろいと感じました。あとは、鳥取の海がきれいなところが好きです。大学は、思い切って東北でない地域を選びましたが、振り返ると鳥取生活はおもしろかったですね。

聞くとところによると、田中さんは多種多様なアルバイト歴をお持ちで、県内の様々な取り組みに参加されています。湖山だけにとどまらず鳥取を存分に楽しませている様子で羨ましい…!

番外編

奄美大島

山田 綾香さん (地域・4年)



- ① 奄美でも都会の地域出身で、想像しがちな「海があって…」とかでなく湖山みたいなおとこです。海も近くにありますが、地元の人はあまり行かないですね。水着を着ている人は観光客だと思って。地元の人は長袖に短パンといったラフな感じで泳ぎます。島内に高校は4つくらいで…
- スタッフ：意外とあるんですね! 鹿児島まで行くのかと思っていました…(_ _)m 鹿児島まで上る人もいますけど、少ないですね。
- スタッフ：鹿児島へは「上る」って言うんですか!?!(笑) 沖縄へ「下る」とは言わないんですけどね(笑)
- 奄美で有名なものは、鶏飯や黒糖ですかね。地元へ帰ると、鶏飯の素は必ず買って帰ります。みんなにもお土産で配ったりしますね。奄美には「島時間」があって、のんびりしているので、集合時間にお風呂へ入り始めたり…一番に来る方が恥ずかしいみたい。鳥取へ来てからは、周りに遅いと言われたので気をつけています…。奄美の方言は何を言っているかわからないと思いますよ?「〜ちよね」とか、鹿児島弁というより沖縄弁に近いかもしれないですね。あとは、驚いた時に「はげ」って言います。でも、鳥取へ来て方言を使うとみんなに突っ込まれるので、使えなくなりました…。奄美出身でよかったことは、すぐ人に覚えてもらえること。
- スタッフ：そもそもなぜ鳥大へ? 親がハンセン病療養所で働いていて、小さい頃から患者さんと触れ合っていた。そこでハンセン病患者に対する差別の歴史を聞き、深く勉強したいと思った。そこで、鳥大にハンセン病について研究しておられる先生がいると知って来ました。
- スタッフ：それにしても鳥取へ行くことにためらいはなかったんですか? もともとコナンが好きだったんです(笑) 鳥取がどんなところが調べてみると、コナンの博物館(青山剛昌ふるさと館)があるのと知って、より行きたいと思いました。

Amami



- ② 鳥取は寒い…。 スタッフ一同：ですよ〜(笑) 鳥取へ来て長靴を初めて買いました。奄美でコートは来たことがなかったです。セーターとマフラーで過ごせますよ。

- ③ 戻らないです。すぐどこでも行けるので、陸続きのところがいいです。でも、地元への愛着心はあります。鳥取へ来たからこそ奄美の良さがわかった。奄美の海も以前は行かなかったけど、行くようになりました。

今回の出身地インタビューは、どれも誌面に載せきれないほどの盛り上がり様でした。スタッフ一同は鳥取近辺の出身なので初めて聞いた話も多く、あらためて、鳥大生はいろんな地域から来ていると感じました。

(担当：富森)

やはり本州とは異なるせいか、「島ならではの」の話が多く、とても興味深いインタビューとなりました。島時間は慣れるまでお互いに苦労しそうですね…。青い海にのびやかな郷土料理…奄美へ行ってみたい!!

スタッフによる 参加レポート

11月30日(日)に開催された「ブックハンティングin神戸」に参加してきました。ブックハンティングとは、書店を訪れて、附属図書館(中央図書館・湖山キャンパス)に置きたい本を学生自身が選ぶという、附属図書館主催の企画です。年2回開催されており、前は夏(8月)に米子にて行われました。



ジュンク堂書店三宮店の正面玄関看板。
ちなみに看板に書かれていない1Fは
フロアと雑誌コーナーでした。

今回お邪魔したのは、兵庫県神戸市の三宮センター街に位置する「ジュンク堂書店 三宮店」様。1~5階までがすべて書店となっており、多くの書籍が取り揃えられています。

当日は学生広報スタッフ2名を含む計21名の学生が参加し、2時間半という時間の中で、思い思いに階を巡って本を選びました(雑誌、漫画、文庫本は対象外)。今回は予算が1人3万円以内で、選んだ本が現在附属図書館で所蔵していないかを各自確認しつつの選書でした。

学生が選んだ本は、1月下旬より附属図書館1階ホールにて公開・展示されています。貸出ができるほか、選んだ学生による本の紹介や選書中の写真等も同時に楽しむことができます。ホールでの公開・展示は4月頃までの予定とのことです。鳥取大学附属図書館は学校関係者だけでなく一般の方も利用可能となっております。鳥取大学附属図書館の詳細はホームページよりご覧いただけます(「鳥大附属図書館」で検索可能)。

この機会にぜひ鳥取大学附属図書館をご利用ください!

学生自身が選んだ本の数々。専門書や一般書、小説、図鑑等さまざまなジャンルの書籍を購入させていただきました。現在は電子書籍もありますが、このブックハンティングは紙媒体ならではの体験であるように思います。皆様の新たな「気になる」・「必要」・「面白い」が見つかりますように。
(担当：山谷)



学生は「選書中」のネームを下げ
カゴを手に持ちつつ店内を行き来しました。
高く大きな本棚と広い店内の様子です。



学生が選んだ本が
ここにまとめて置かれます。
こうして一気に集められた本を購入、
順次図書館に入荷されます。



総覧展示中(1月下旬~)!
写真撮影時にはすでに貸出し
中の書籍もいくつかありました。

購入書籍リスト(全268冊の中から一部抜粋)

題名(副題は省略)	著者	出版社
Amazonで変なもの売ってる	谷山浩子	イースト・プレス
もしも紫式部が大企業のOLだったなら	井上ミノル	創元社
動物たちの愉快な事件簿	ユージン・リンデン	紀伊國屋書店
京都もみじ散歩	水野克比古	光村推古書院
明治・妖モダン	畠中恵	朝日新聞出版社
スターバックス成功物語	ハワード・シュルツ	日経BP社
<悪口>という文化	山本幸司	平凡社
図説アイデア入門	狐塚康己	宣伝会議
美しい人体図鑑		笠倉出版社
ジェネリック医薬品リスト 平成26年8月版		じほう

その日のスケジュール

13:30	ジュンク堂集合 説明、案内
8:00	鳥取大学出発
13:40	選書開始
11:00	神戸市三宮着
16:00	選書終了
自由行動、各自昼食	16:15 神戸市三宮出発
	19:20 鳥取大学着



正面玄関前にて選書終了後に撮影。
ちなみにセンター街はクリスマス一色でした。
皆様ご協力ありがとうございました!

参加学生への インタビュー

- 参加の理由
- 今回選んだ本
- おすすめの本
- 最後に一言



- 学生選書ワーキンググループ(※)の活動の一環として。また、本が好きだから。
- 農学部の研究に関係がある書籍など
- キノコの本、野菜の本
- 今後も選書の活動を続けていくので、皆様もご興味がありましたらご参加ください。

(※)学生選書ワーキンググループとは、図書館を学生の視点から変えていくことを目的として活動する学生グループ。



吉富 修吾さん
農学部生物資源環境学科
3年

- いつも図書館を利用するが、工学系の本が少ないと感じたため。また、本が好きだから。
- 工学系、飛行機等に関する書籍
- 『純国産ガスタービン開発』
- 工学が好きな方はぜひ読んでみてください。



福田 愛さん
工学部機械工学科 3年



学生広報スタッフ募集中!

宛先: ge-kouhou@adm.tottori-u.ac.jp (ご意見・ご感想もこちらまで!)
トリセツバックナンバーは鳥取大学ホームページで公開しています。